

各 位

上場会社名	TOWA株式会社
代表者	代表取締役社長 岡田 博和
(コード番号)	6315)
問合せ先責任者	経営企画本部長 柴原 信隆
(TEL)	075-692-0251)

業績予想の修正に関するお知らせ

当社は、本日開催の取締役会において、最近の業績動向を踏まえ、平成30年10月29日に公表いたしました平成31年3月期通期業績予想を下記のとおり修正することといたしましたので、お知らせいたします。

記

● 業績予想の修正について

平成31年3月期通期連結業績予想数値の修正(平成30年4月1日～平成31年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する当期純利益	1株当たり当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	31,300	1,900	2,000	1,600	63.98
今回修正予想(B)	28,250	550	550	500	19.99
増減額(B-A)	△3,050	△1,350	△1,450	△1,100	
増減率(%)	△9.7	△71.1	△72.5	△68.8	
(ご参考)前期実績 (平成30年3月期)	31,010	3,682	3,540	3,026	121.02

平成31年3月期通期個別業績予想数値の修正(平成30年4月1日～平成31年3月31日)

	売上高	経常利益	当期純利益	1株当たり当期純利益
	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	26,000	200	150	6.00
今回修正予想(B)	23,400	△1,050	△750	△29.99
増減額(B-A)	△2,600	△1,250	△900	
増減率(%)	△10.0	—	—	
(ご参考)前期実績 (平成30年3月期)	28,475	1,741	2,082	83.25

修正の理由

スマートフォン需要の減少やメモリー価格の下落、米中貿易戦争の深刻化により、顧客の投資計画が軒並み見送られ、当社を取り巻く環境は日に日に悪化しております。想定を超えた落ち込みは底が見えない状況で、第3四半期に続き、第4四半期以降も顧客の需要回復は期待出来ず、売上高が大きく減少する見込みです。厳しい市場環境を受け、グループ一丸となりさらなるコストダウンの実施と販売管理費の削減を行いますが、売上高の減少に加え、ハイエンドデバイス向け製品の売上台数が大きく下振れし、製品ミックスが悪化すること、また、先行的に手配していたプラットフォーム(顧客毎のカスタマイズ仕様に影響しない標準部分)等が、顧客の投資計画変更にともない社内の規定期間を超過した滞留在庫となり、会計上の評価損が発生することから、利益についても当初予想を大幅に下回る見込みです。

以上の結果、当社は上記のとおり通期の業績予想を修正することといたしました。
なお、当期末の配当予想につきましては、平成30年5月10日に公表いたしました内容(1株につき16円)から修正はございません。

※本資料に掲載されている業績見通し等の将来に関する記述は、本資料の発表日現在において当社が入手可能な情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

以 上